

Kogi, K., Hishii, T., Imamura, A., Iwatani, T., and Dudzinski, M. K. 2004.

Demographic Parameters of Indo-pacific bottlenose dolphins (*Tursiops aduncus*) around Mikura island, Japan.

*Marine Mammal Science* 20(3): 510-526.

日本語タイトル

日本の御蔵島周辺に生息するミナミハンドウイルカ (*Tursiops aduncus*) の個体群パラメーター

要旨日本語訳

日本の東京都御蔵島にて、映像記録を用いたミナミハンドウイルカ (*Tursiops aduncus*) の長期的な個体識別調査を行った。1994年から2001年までの夏期の間、246回の調査を行い、3996分の映像を記録した。カタログに入れられていないが、母親といたため識別することができたコドモや新生児を含む220個体が観察された。8年を超える調査期間で、識別され、カタログに入れられた個体の総数は169個体であった。新規に識別されたイルカの頭数は、1995年以降、年間10頭までで安定した。各年の調査期間の中盤で、再識別個体は頭打ちとなった。イルカの大半は何度も観察された。年をまたいで再識別されたイルカの割合は86%を超え、62個体は8年間連続して観察されている。各年のイルカの性比に有意差は見られなかった。性比は、オスはワカモノに、メスはオトナに著しく偏っていた。1歳児の生存率は86.7%で、平均離乳年齢は3.5歳であった。オトナメスの平均出産間隔は3.4年であった。年間の平均出生率、繁殖率、新規個体加入率は、それぞれ0.071、0.239、0.068であった。御蔵島は、周囲にプロテクトされた湾のない外洋に位置している。イルカは、御蔵島以外の伊豆諸島の島には定住していない。そのため、御蔵島はこの海域のイルカにとって重要な核となる生息地なのかもしれない。

---

訳者: 笠貫ゆりあ 翻訳日: 2012年5月1日

※日本語要旨は第一著者の承諾の元に作成しました。訳者が第一著者でない場合、訳文の品質には責任を負いかねます。正確な情報をご入り用の場合は、原文をご覧ください。